

日常臨床における適切で安全な最小限の治療とは何か？

適切な診断とコンポジットレジン修復

21世紀に入り、大きく変化を続ける歯科を取り巻く環境の中でいまこそ原点に立ち戻り、真に求められている歯科医療について、東京都で開業の西川義昌先生にご講演いただく機会を得ました。歯科医師の先生方はもちろん、多くの歯科関係者にご参加いただければ幸いです。



● 日程

2006年10月9日(月祝)
09:30~16:00

● 会費

歯科医師 10,000円
その他 5,000円 (消費税・昼食代込み)
当日キャンセルによる参加費のご返金は致しかねますのでご了承下さい

● 定員

100名
定員になり次第、締め切りとさせていただきます

● 内容

- ・歯科治療における3つの診断
- ・我々の考えるMIとは何か
- ・齲蝕の除去の基準
- ・審美的コンポジットレジン充填法(+ビデオ解説)
- ・適切な治療のための診査、診断の基準とは何か
- ・審美、機能を考慮した支台歯形成法
- ・症例

● 会場

札幌コンベンションセンター204会議室
SORA 〒003-0006札幌市白石区東札幌6条1丁目
TEL011-817-1010



● 主催



北海道歯科産業株式会社

札幌市白石区菊水1上町2条4丁目36-77
電話 011(813)5556
http://www.hokusan-kk.co.jp
info@hokusan-kk.co.jp(担当: 鈴木善博)

● 講師

西川義昌 先生

Yoshiaki Nishikawa

1949年大阪府出身
1974年大阪歯科大学卒業
1975年原宿デンタルオフィス勤務
1995年飯島中央病院歯科 勤務(鹿児島県)
2000年現診療所を開設(渋谷区)
現在 NMG顧問、東京SJCD会員
日本臨床歯科補綴研修会インストラクター



■ 主な著書・文献(2003以降)

- 補綴臨床「失敗しない補綴治療のための誌上Polyclinic」2003年9.11月、2004年1月
- 補綴臨床「歯冠修復のスタンダードを探る-診査・診断・治療の原則とその手法」
- 補綴臨床「変革からスタンダードへ-この治療を支えるこの器材システム」2003年11月
- 歯科技工「この歯科技工のためにはこの処置・対応と製作情報を
— 歯科技工が歯冠修復治療として成立する要件 2003年12月
- 歯界展望「確実な象牙質接着の理論と新しい齲蝕検知液カリエステック」
- 歯科技工別冊「クリニカルクラスデンチャー」2004年12月
- 補綴臨床別冊「チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖」2004年6月
- 「歯科臨床のエキスパートを目指して vol.1コンベンショナルレストレーション」
1. 診査・診断と診断用ワックスアップ
- 「歯科臨床のエキスパートを目指して vol.2ボンディッド・レストレーション」2006年4月
7. コンポジットレジンレストレーション

● 講師挨拶

歯を削らないことは良いことである、もしくは歯への外科的介入を最小限にすることが歯科治療にとって理想である、ということはいくつまでもありません。口腔内に加療することなく長年にわたって健康が維持できればそれこそ理想的な「歯科治療」であると思います。

しかし、不幸にも齲蝕になって、もしくは再治療を必要とする歯に対してはどのような「最小限の介入(MI)」がもっとも適切でしょうか？齲蝕や再治療をする部位が大きくなっている場合、どのような治療を選択するのがもっとも適切でしょうか？レジン充填でよいのかインレーもしくはオンレーのような治療にするのかクラウンになるのか、その診断の基準は明らかになっているのでしょうか。診断治療計画のステージでどういった修復を選択するのかをしっかりと決定しなければいけません。

また現実の歯科臨床でもっとも頻度の高いコンポジットレジン充填において、しっかりと緊密に充填し、なおかつ審美的に治療することは技術的にそんなに簡単ではありません。

今回は安全で適切な歯科治療を目指して、そのために必要な基本的概念についてお話させていただきます。

直接法のコンポジットレジン充填に関してはわずかな本数のコンポジットレジンで審美的な充填が出来るような方法についてお話をさせていただきます。

また特別に審美的なコンポジットレジン充填についてライブビデオに基づいた解説を世界的な歯科技工師である小野寺保夫さんにやっていただく予定にしています。 西川義昌

北海道歯科産業(株) ~日常臨床における適切で安全な最小限の治療とは何か~ 札幌10/9 参加申込書

氏名	フリガナ	DR その他	資料送付先住所	〒
	フリガナ	DR その他		電話・FAX
勤務先			e-mail	

ご記入いただきました個人情報は、今回のセミナー申込およびアフターフォローなどに利用させていただきます。これらの目的以外で第三者に情報を提供することはありません。

FAX0120-124-162